

国際力動的心理学療法学会 第26回年次大会

大会テーマ

不可能を可能にする瞬間 一心のミクロな変化を捉えるー

Make the Impossible Possible: The Moment of Micro-Change Dynamics in Psychotherapy



wolfgangthome.wordpress.com

2020年11月21日(土)ー23日(月・祝)

兵庫教育大学 ハーバーランドキャンパス

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル3階 (JR神戸駅 徒歩8分)

大会会長: 永山 智之 Ph.D. 兵庫教育大学 講師/PAS心理教育研究所 客員研究員



大会会長挨拶

2019年、IADPは25周年記念を迎えました。2020年、神戸は震災後、25年を迎えます。「がんばろうKOBE」の後、神戸は生き生きとしているでしょうか？

フロイトは人生で大切な事として、愛すること、働くことを挙げました。しかし、日本人はややもすると、ひたすら頑張る働き、いつの間にか愛すること、生きること、その瞬間の喜びを遠くに置きがちです。愛することと働くことは、どちらかしか選べない『究極の2択』なののでしょうか？

否。マクロにはそうかもしれませんが、一部の心理療法・心理支援で活用されつつある、ミクロな量子力学の観点では違う捉え方ができます。蓋を開ける瞬間には、どちらもありうるのです。これらの「こと」に関わる生と死の2つの欲動（無意識の衝動）は、同時には正確に測定できないですが、両者は対立するものではなく、相補い、人生の全体像を説明するものとして描けます。

人は意志決定が出来ない自我自律性不全にある時、どっちつかずになります。しかし、改めて2択で問うことで、瞬間瞬間、自分の位置を定め直して愛することも選び、どちらもOKと置いて主体的に行き来していけるのです。

西洋では、近代以降にニュートン力学的因果論から揺らぎを捉える量子力学への展開があり、人間と自然が対置され、個人の自我のあり方が問われる中で、様々な心理療法の営みが浸透してきました。

他方、東洋では近代以前に量子論に通じる思想が展開しました。特に人間と自然を一体と見ていた日本人は箱庭遊びを楽しむ文化を持ち、生死に関わることを「縁」として、共同体を基盤に自己を広げて揺らぎの中で乗り越えてきたのかもしれない。

しかし、近代に高まり、現代に入って激しさを増していったグローバル化の波が、洋の東西の境界を揺るがし、昨今のインターネットの普及と相まって、時間感覚の変更をも迫っています。世界が急速に変化し続ける中、今や誰もか、自分の位置を、心の時間・空間を容易に失いかねないのです。

こうした中、日本ではかつての共同体が失われて自己が拡散しがちとなり、しばしば直線的な因果論に囚われ、自己を狭めてもいます。そして、空気を読んで意志決定を保留してひきこもったり、『女は家庭で男は会社』『生きるために、家族や会社のためにひたすら頑張るべき』といったような、旧来の一度定めた「あるべき」世界観から脱却しきれずにいます。

それは結果として一人ひとりを孤立させ、家族や組織の危機の瞬間に働かず、災害やいじめ、あるいは家族や民族のトラウマを見逃す流れを作ります。あるいは、発達のための時間・空間を持たず、発達障害か否かのマクロな2分法に囚われ、個々人の発達するミクロなポイントを捉えられない事態を招きます。こうして、可能なことも不可能の波にさらわれていくのです。

では改めて、そこに自我も置き、ミクロな量子力学を置いてみるとどうでしょうか？母性社会と言われた日本にも父がいて、エディプス（父と母との三者関係）があると置いてみるとどうでしょうか？

不可能を可能にする。直線的な世界を抜ける道を拓くのが「この瞬間」の揺らぎと選択であり、心のミクロな変化を捉える専門家のなせる業です。専門家としての自分を磨き、より豊かな支援につなげるために、自我と自己の相互作用を置き、男女の愛情交換・協働を基盤に東洋・西洋の2分法も超えていきましょう。

さあ、まずは集いましょう。心理・教育・医療・看護・福祉…様々な形で心の支援に関わる専門家、これらを志す学生のグループの力で、不可能の波を越えるのです。この学会での「ご縁」から始まる、ミクロな変化のモザイク的饗宴を。時空を超えた飛躍を。死を置き、それでもなお、生き生きとした神戸を。日本を。世界を。

関西という地は、日本人の勤勉さに加え、瞬間「アホ」になり、生き生きとできる文化を有しています。関西初上陸のIADP。この地ならではの展開を、今、ここからはじめましょう。港の街で「祭り」の準備をしてお待ちしています。

第26回年次大会会長 永山 智之

大会準備委員会からのお知らせ

演題募集 2020年4月下旬開始予定

臨床研究発表などの演題を募集いたします。発表形式等の詳細は、後日大会ウェブサイト上に公開いたします。

大会参加申し込み 2020年5月開始予定

プログラムの内容、講演者・訓練リーダーなどの詳細は、6月発行の大会パンフレットでお知らせいたします。

学会ウェブサイト <https://www.iadp.info/>（入会手続きはこちら）

大会ウェブサイト <https://26annual.iadp.info/>（準備中）

大会事務局 兵庫教育大学

大会事務局長 長島 祐美子 E-Mail: office26@26annual.iadp.info